

令和8年度 家庭科 第1学年 評価規準

〔家庭分野〕

第1学年【年間授業時数 35 時間】

月	単元名（時数）	学習活動	評価規準
4	家庭分野ガイダンス(1) A家族・家庭生活(2) 1今の自分とこれから 2家庭のはたらきと家庭の仕事 3様々な家族・家庭	○小学校の学習を振り返り、中学校での学習の目的、内容を確認する。 ○教科書の例を参考にこれまでの自分を支えてくれた人を思い出す。 ○家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気付き、自分ができることを考える。 ○食事の役割や栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴について理解する。	【態】3年間の家庭分野授業で身に付けたいことや、知りたいことについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【知】家庭には様々な活動があることや、家庭の主な機能について理解している。 【態】自分の成長は家族をはじめ多くの人に支えられ、影響を受けてきたことについて考え、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
5	B食生活 1人間にとっての食事(2) ①食事の役割 ②毎日の食事と健康の基本 ③食事の役割と調理	○食習慣について理解し、健康な体作りのために気を付けなければならないことについて考える。 ○調理の役割と食事の意味についてグループで意見交換する。	【態】食事の役割について、問題解決に向けて自分の体験や一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【思】自分の食生活を調理や食事に関連させて考え、工夫しようとしている。
6	2食品と栄養素(3) ①食品と栄養素をつなぐ ②栄養素のはたらき	○6つの基礎食品群について理解する。 ○食品群と五大栄養素の関係について理解し、食品成分表の見方を知る。	【知】栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 【態】栄養素の種類とはたらきについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
7	3中学生に必要な食事(2) ①中学生の発達と必要な栄養 ②目で見て判断 栄養バランス 4日常食の調理と地域の食文化(10) ①食品と調理 ②生鮮食品の選択と保存 ③肉の特徴と調理 ④魚の特徴と調理 ⑤野菜の特徴と調理 ⑥加工食品の選択と調理 ⑦受け継がれてきた食文化	○食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し、その理由を考える。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。 ○調理と「おいしさ」の関係について理解する。 ○衛生と安全、環境に配慮した調理の流れとポイントを確認し、調理用具の種類と使い方を知る。 ○肉・魚・野菜の特性を理解し、それぞれにあった調理方法を考える。 ○和食の特徴を理解し、地域の郷土料理を調べる。	【知】中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 【知】調理の手順と注意点が分かり、衛生と安全に配慮した調理について理解している。 【態】生鮮食品の特徴とその表示の見方について理解している。 【思】生鮮食品の選択や保存について問題を見いだして課題を設定している。 【知】調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。 【知】地域で生産される食材の調理を通して地域の食文化を理解している。

8	【刺し子の花布巾の製作】 (4)	○製作に必要な知識・技能について調べ、計画的に製作する。	【態】製作に関心を持ち、活動を振り返って改善しようとしている。
9	5献立づくり(4)	○各食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスのとれた1日分の献立を考える。	【思】1日分の献立を作成し、1食分の調理のしかたや調理計画について問題を見だし課題を設定している。
10	1日分の献立	○自分たちの食生活をSDGsの視点から振り返り、食生活のあり方について考える。	【態】社会や環境に配慮した食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて工夫し、創造し、実践しようとしている。
11	6持続可能な食生活(1)		
12	持続可能な食生活を指して		
	C消費生活・環境	○金銭管理のしかた等自分の消費行動を振り返り、問題を見だし課題を設定することができる。	【知】消費生活のしくみを理解している。
1	1家庭生活と消費(1)	○商品を選択するときのポイントや、よりよい商品選択のための情報収集のしかたについて考え、自分の考えをまとめる。	【態】金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	消費生活のしくみ	○様々な支払い方法について知り、金銭管理について考える。	【知】購入方法や支払い方法の特徴や、計画的な金銭管理の必要性について理解している。
	2購入・支払いと生活情報(2)	○消費者の権利と責任を果たす「自立した消費者」の在り方について事例を通して考える。	【思】消費者被害と消費者の自立について問題を見だし課題を設定している。
	①購入の時に考えること	○消費者被害の現状と背景、悪質商法の内容を知り、手口と予防方法をまとめる。	【知】消費者の8つの権利と5つの責任について理解している。
	②商品情報から見えること	○売買契約について問題発生の原因や対応方法を含め、理解する。	【知】売買契約の成立と解約について理解している。
	③いろいろな購入方法	○環境や社会に配慮した消費行動について考え、発表する。	【知】消費者を支える支援やしくみについて理解している。
	④現金以外の支払い方法	○消費者を支える支援やしくみについて理解し、自分の生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を工夫することができる。	【思】「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」などについて問題を見だし課題を設定しようとしている。
	3消費者被害と消費者の自立(2)		【態】設定した課題について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	①消費者の権利と責任		
2	②身近に起こっている消費者被害		
	③売買契約の成立と解約		
	④自立した消費者になるために		
3	4持続可能な社会に向けて(1)		
	①消費生活が環境に与える影響		
	②地球環境を守る私たちの暮らし方		
	③持続可能な社会の実現を目指して		